

科目ナンバー	LAW-1-001-jk	科目名	法学概論		
教員名	谷口 聡	開講年度学期	2020年度 前期	単位数	2
概要	本講義は、法学全体構造を概観することを講義の目的とする。法学とはどういう学問かについて簡潔に触れた後、主に、「六法」といわれる、憲法、民法、刑法、商法、民事訴訟法、刑事訴訟法などについて、それぞれの大きな内容を学習する。つまり、第一には、「法」というものの性質と「法学」という学問に関するおおまかな全体的な理解を目標にし、第二に、個別に六法に関する概略的な内容を理解することにより、さらに、法学全体の概略的な内容を理解できるようにするものとする。				
到達目標	憲法、民法、刑法、商法など、それぞれの法体系の内容の概略を理解し、「法学の概要」を知識として身につけるとともに、本格的に、それぞれの法体系の学習を開始するための第一段階のステップを踏むことが本講義の目標とするところである。すなわち、憲法、民法、企業法、国際法などの科目の学習に入る前段階の足掛かりを得たいと考える。				
「共愛12の力」との対応					
識見	自律する力		コミュニケーション力		問題に対応する力
共生のための知識	○	自己を理解する力	伝え合う力		分析し、思考する力 ○
共生のための態度		自己を抑制する力	協働する力		構想し、実行する力
グローバル・マインド	○	主体性 ○	関係を構築する力 ○		実践的スキル
教授法及び課題のフィードバック方法	講義担当者の用意するレジュメを中心に講義を進めたい。加えて、板書を行い、講義内容の充実を図る。また、本講義の履修者の人数にもよるが、講義が一方通行にならないように、本講義を履修する学生との対話の時間も採りたいと考える。また、主体的に学習する態度と法的思考力を養うためレポートを課すこととする。				
アクティブラーニング	○	サービ斯拉ーニング		課題解決型学修	
受講条件 前提科目	この科目は、法律科目の前段階に設定されている科目であると思われる。したがって、この科目を受講するための条件は、法律学に興味・関心があり、この科目をステップとして、その他の法律科目を受講したいと考えているすべての学生に開かれるべきであると考え。そして、可能であれば、その他の社会科学系科目である、経済学や経営学の関係科目を履修していると、よりよい相互理解が生まれると思われる。				
アセスメントポリシー及び評価方法	この講義の評価は期末試験の成績において行う。ただし、期末試験の受験資格として、この講義の受講状況が良好であることが必要である。受講状況が「良好」とであるとする判断基準については初回の講義において詳しく説明する。				
教材	品川皓亮著、佐久間毅監修『日本一やさしい法律の教科書』（2011年 日本実業出版社）を本講義のテキストとする。なお、講義担当者が毎回、レジュメを用意する。				
参考図書	必要に応じて、講義時間中に紹介する。また、受講生の個別の学習目標（現在の法律知識、将来、公務員試験を受験するとか、資格試験を受験するとか）による適切な参考書を、受講生の相談に応じるかたちで、個別に紹介したい。				
内容・スケジュール					
1週目					
授業学修内容	イントロダクション。一この講義の進め方、法律学習の方法、法学を学ぶ意義、わが国の法体系などについて				
授業外学修内容	この科目受講に対する具体的なヴィジョンをもってください。			時間数	1
2週目					
授業学修内容	法、法律と社会規範。一法とは何か、法と道德の関係などについて				
授業外学修内容	「法、法律」とは、どのような社会規範であるのかについて考える。			時間数	1
3週目					
授業学修内容	裁判制度と法の適用一法律を適用して具体的紛争を解決する理論的プロセスとその公的機関たる裁判所について				
授業外学修内容	一法律を解釈して適用するということはどういうことか、また、裁判所の仕組みはどうなっているのかについて考える。			時間数	1
4週目					

授業学修内容	憲法(わが国の統治機構①)―三権分立といわれる「国会」「内閣」「最高裁判所」相互の関係について		
授業外学修内容	わが国の三権分立について考える。	時間数	1
5週目			
授業学修内容	憲法(わが国の統治機構②)―三権のそれぞれの機能・役割について		
授業外学修内容	三権それぞれのもっている機能と役割について考える。	時間数	1
6週目			
授業学修内容	憲法(基本的人権)―憲法の保障する基本的人権について		
授業外学修内容	基本的人権にはどのようなものがあり、どのような内容であるか考える。	時間数	1
7週目			
授業学修内容	憲法(国家統治のしくみ、明治憲法と日本国憲法)―近代国家のしくみと憲法の関係、また、明治憲法と日本国憲法の相違について		
授業外学修内容	近代国家のしくみと憲法の関係、そして、わが国の最初の憲法である明治憲法と戦後に制定された日本国憲法の相違について考える。	時間数	1
8週目			
授業学修内容	民法(契約と、契約の成立)―契約とはどのようなものか、また、契約はどのように成立するか。		
授業外学修内容	契約の成立に必要な「意思の合致」について考える。	時間数	1
9週目			
授業学修内容	民法(損害賠償法)―損害賠償請求権はどのような場合に発生するか。		
授業外学修内容	不法行為や債務不履行によって損害賠償請求権が発生する要件と効果について考える。	時間数	1
10週目			
授業学修内容	民法(相続と遺言)―法律で定められた相続方法と生前の意思により財産を承継させる制度について		
授業外学修内容	法定相続と遺言相続のそれぞれの制度趣旨について考える。	時間数	1
11週目			
授業学修内容	刑法(刑法の諸原則と論点)―「罪刑法定主義」「疑わしきは被告人の利益に」などの刑法原理について		
授業外学修内容	刑法の基本原則について考える。	時間数	1
12週目			
授業学修内容	刑法(行為無価値と結果無価値)「殺人」は、人を殺そうとしたから罪なのか、人が死んでしまったから罪なのか―		
授業外学修内容	刑法の基本的対立概念である「行為無価値」と「結果無価値」について考える。	時間数	1
13週目			
授業学修内容	商法・会社法(株式会社の仕組みと社会的役割)―株式会社の仕組みと社会的に求められている役割について		
授業外学修内容	株式会社とはどういうものかを考える。	時間数	1
14週目			
授業学修内容	民事訴訟法(実体法と手続法の機能)―民事手続法における民事裁判のしくみとプロセスについて		
授業外学修内容	民事裁判のプロセスについて考える。	時間数	1
15週目			
授業学修内容	刑事訴訟(主に裁判員制度について)―刑事訴訟のしくみと裁判員制度について		
授業外学修内容	裁判員制度についてその仕組みと裁判員の実際の仕事について考える。	時間数	1
上記の授業外学修時間の合計		15	
その他に必要な自習時間		75	

Number	LAW-1-001-jk	Subject	Principles of Law			
Name	谷口 聡(Taniguchi Satoshi)	Year and Semester	First semester for 2020	Credits	2	
Course outline	This lecture aims to get the overview of Jurisprudence. In this lecture after the studying what the Jurisprudence is, we study general contents of six laws, namely, constitution, civil law, criminal law, commercial law, civil proceeding act and criminal proceeding act. In other words, first, this lecture aims to get total point of view for law system in Japan, and secondly, to get legal mind and more detail knowledge of laws though learning each six laws.					